

犯罪被害類型別継続調査（平成19年度～平成21年度） ～ 経済状況、経済的支援に関する部分を抜粋 ～

1 調査目的

被害類型別、被害者との関係別に、犯罪被害者等の置かれた状況について継続的な調査を実施し、時間の経過に伴う当該状況の変化を把握し、その要因を分析することにより、犯罪被害者等の置かれた状況を改善させるための効果的な施策は何か、犯罪被害者等基本計画の着実な推進が犯罪被害者等の置かれた状況の改善にもたらした効果等の検討の参考とすることなどを目的として平成19年度から3か年にわたり実施。

2 調査方法（パネル調査）

犯罪被害者団体及び犯罪被害者支援団体を通じて依頼した同一の犯罪被害者等に対し、3年間継続して郵送回収によるアンケート調査を実施。

3 調査対象（パネル調査）

平成19年度調査時点で過去10年以内に、①殺人・傷害等の暴力犯罪 ②危険運転致死傷、業務上過失致死傷（交通事故） ③未遂を含む強姦・強制わいせつ、痴漢等の条例違反（性犯罪） ④その他の犯罪 の被害に遭った被害者本人又はその家族若しくは遺族。

平成21年度調査の有効回答数115

うち①50、②53、③8、④4（うち3年連続回答数104）

4 調査実施時期

平成20年1月15日～2月4日（平成19年度）

平成21年1月16日～3月3日（平成20年度）

平成21年11月24日～12月25日（平成21年度）

5 調査項目

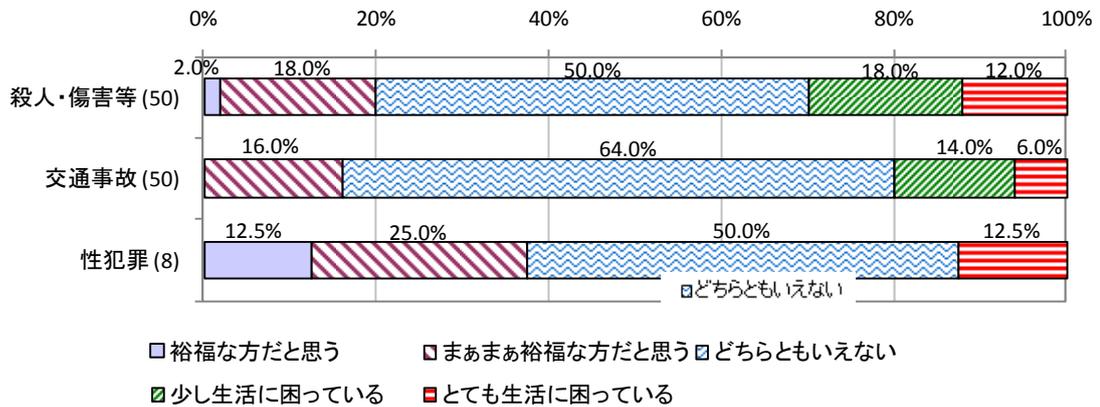
- 基本属性
- 身体・精神的状況
- 経済状況
- 生活状況
- 支援及び制度の利用率、満足度
- 二次的被害
- 今後実現・充実させていくことが望ましい施策・事業

6 調査結果（経済状況及び経済的支援に関連する部分を抜粋）

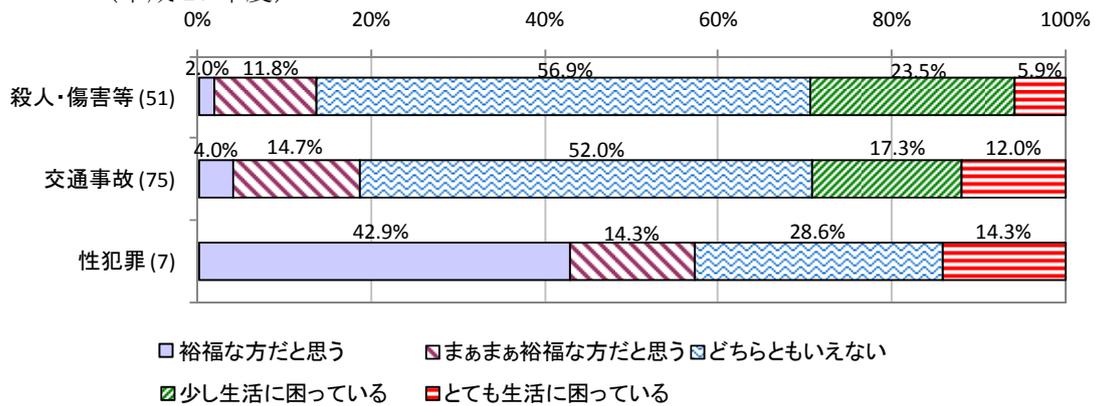
(1) 現在の経済状況

○ 被害類型×現在の生活をどのように感じているか

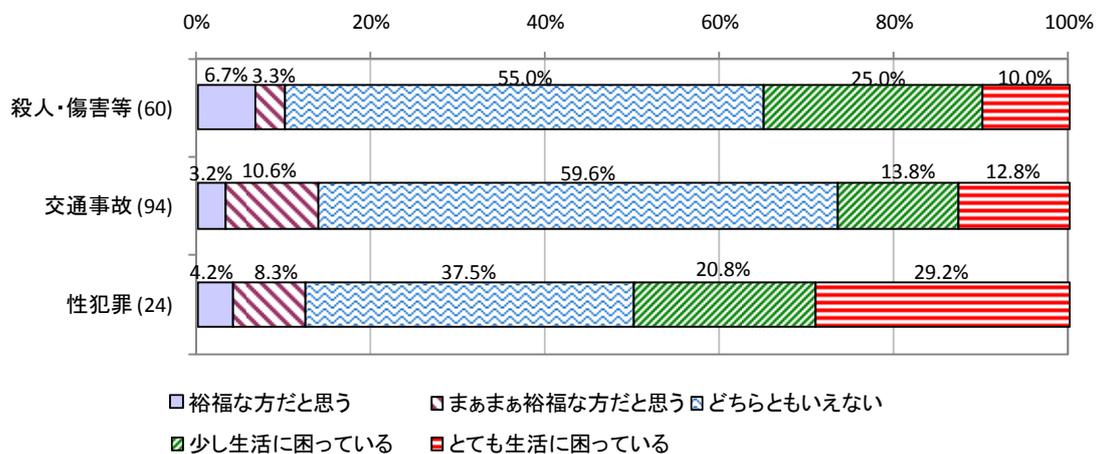
(平成 21 年度)



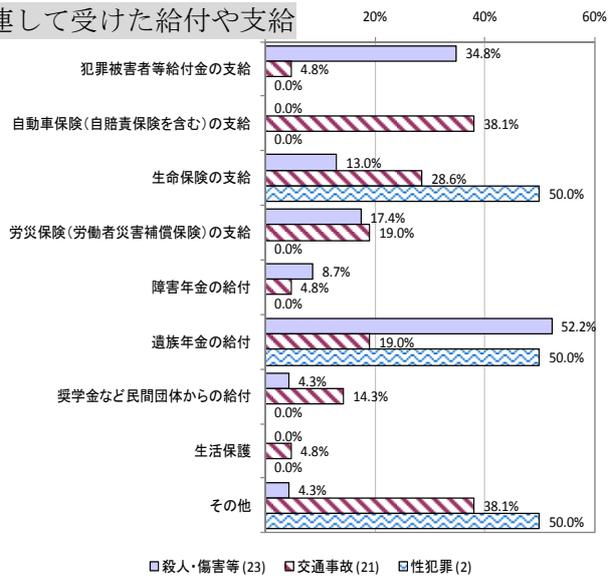
(平成 20 年度)



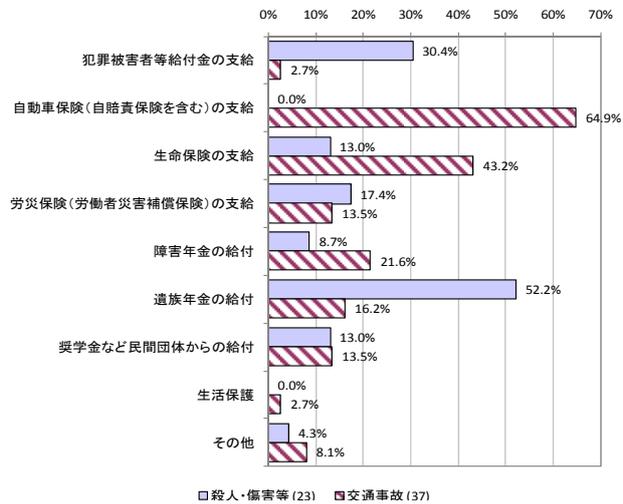
(平成 19 年度)



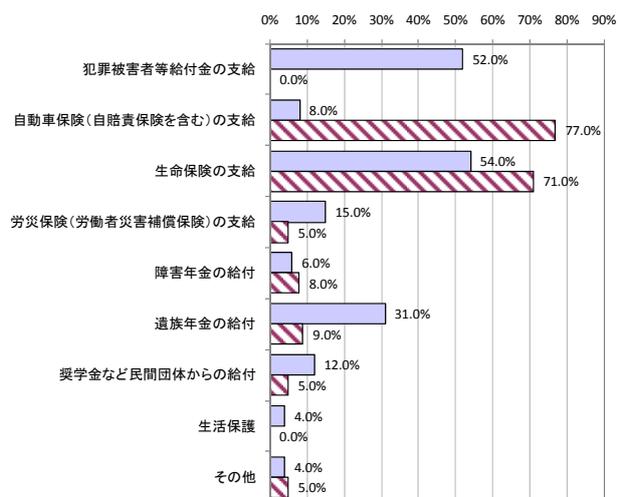
○ 被害類型×事件に関連して受けた給付や支給
(平成 21 年度)



(平成 20 年度)



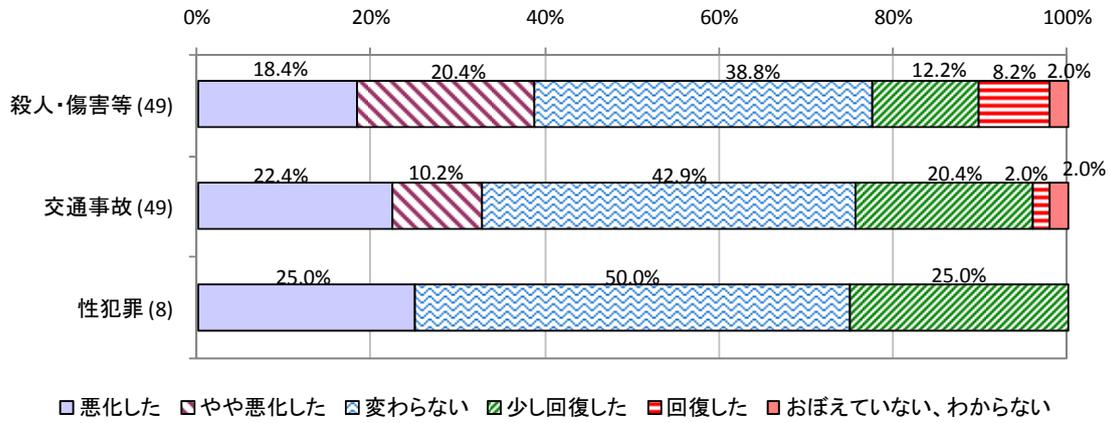
(平成 19 年度)



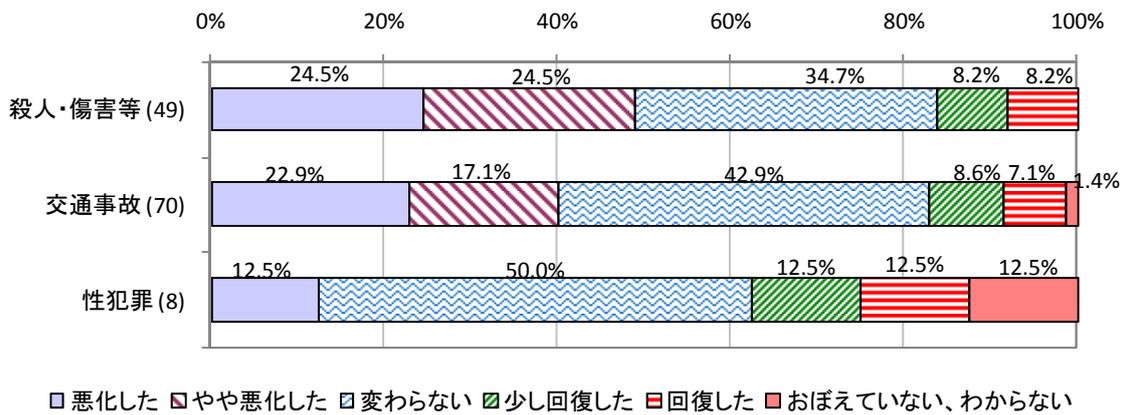
※平成 19 年度、平成 20 年度は性犯罪の回答なし □殺人・傷害等 (52) □交通事故 (75)

※平成 19 年度の数値は、「事件から現在 (平成 19 年度調査時点) までの間に受けた給付や支援」であることに留意。

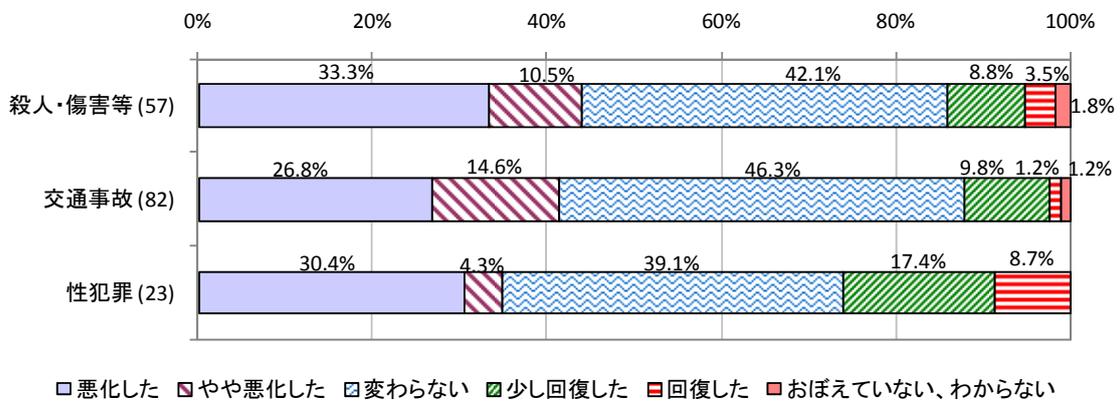
○ 被害類型×経済状況の変化
(平成 21 年度)



(平成 20 年度)

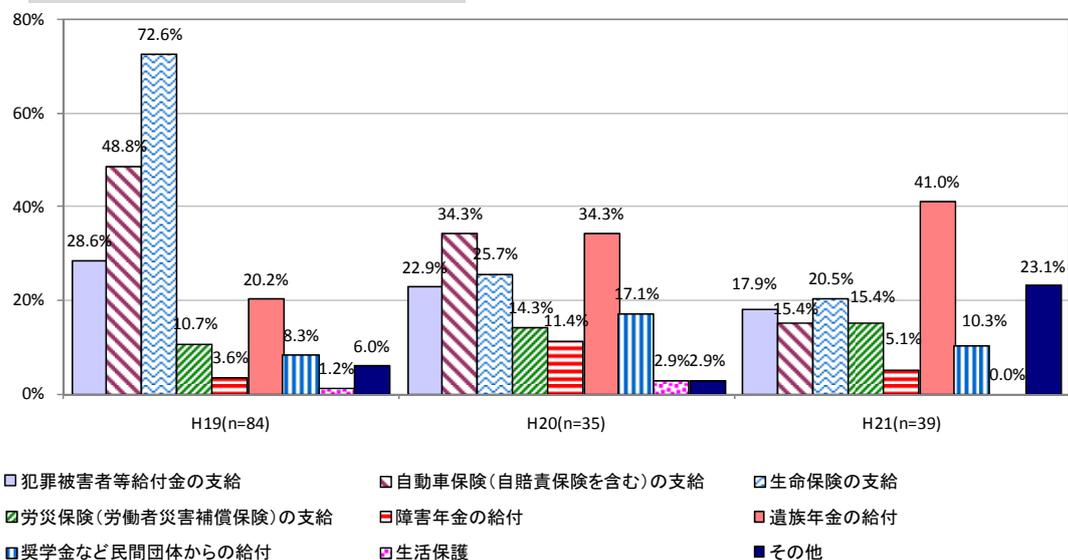


(平成 19 年度)



(3) 活用した支援施策

○ 給付・受給活用状況の経年推移



※ 平成 19 年度調査の数値は「事件後から現在までの間に受けた給付・支給」、平成 20 年度及び平成 21 年度調査の数値は「過去 1 年間に利用した支援・制度」であることに留意。

(4) 今後実現・充実させていくことが望ましい施策

